

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	大蔵村 (06365)
地域名 (地域内農業集落名)	北部1 (清水・合海・大坪)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	220.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	220.4 ha
② 田の面積	162.8 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	57.6 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	14.6 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	50.3 ha
(参考) 区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	85.7 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	63.2 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

水稻を中心にトマトやねぎ、にら、そば等の栽培や、乳牛や繁殖牛等の畜産経営が行われている。
稲作農家が多く、経営者等の高齢化と農業後継者不足が課題となっている。
地域内での受け手となる担い手が少なく、認定農業者等の担い手の平均年齢は62歳と高齢になっており、また、一部の地域では、農地の集積・集約化が進んでいない状況である。
多面的機能支払交付金を活用した共同作業により、荒廃農地の発生を防止する取り組みが行われている。

【地域の基礎的データ】

認定農業者17人(うち60歳以上14人)法人1経営体

主な作物:水稻、トマト、ねぎ、にら、乳牛、肥育牛、繁殖牛

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

地域の農業基盤の維持保全のため、多面的機能支払交付金を活用した共同作業により耕作放棄地の発生を防ぎ、地域全体で農業を支える体制づくりを推進していく。
基盤整備事業の予定がない地区については、水稻を中心として可能な限り現在の経営を継続しながら、将来的には受け手となる担い手に引き継ぐことを視野に入れていく。
清水堰地区の農業基盤整備事業(清水・合海地区)の完成後については、中心的な担い手への集積・集約化を図っていく。
本村の重点振興作物であるトマトについて基盤整備事業によりハウスの団地化を進め、農作業の効率化を図りさらなる経営安定を目指す。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	31.3	%	将来の目標とする集積率
			60 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農地中間管理事業の活用による集約化が進んでいるため、今後も利用調整を行った上で貸借を進めることで、団地面積の増加を目指す。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
清水堰地区では、農地基盤整備事業(清水・合海地区)を契機に地域内の認定農業者等を中心に、農地集積・集約化を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地の賃貸借について農地中間管理機構を通じ、担い手の経営意向を勘案し、段階的に集積・集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組
平成14年度に天保・ハリウ地区で農業基盤整備事業が完成しており、令和6年度から清水堰地区で農業基盤整備事業の本工事に着手し、令和11年度に完成を予定している。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
村やJAと連携し、認定農業者や新規就農者の確保に努め、技術指導の支援を行っていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
作業の効率化が可能な防除作業や収穫作業は、中心経営体の担い手が引き受け可能な範囲で作業を受託することで経営の安定化と遊休農地の発生防止を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①有害鳥獣による農作物被害が発生しており、今後は南部地区で被害が頻発しているニホンザル等の被害拡大が懸念されるため、地域ぐるみで電気柵の設置等による鳥獣被害対策に取り組む。
③清水堰地区の基盤整備後は大区画の圃場となることから、ドローン等を活用した肥料・農薬散布を行い、農作業の軽減を図る。
⑦多面的機能支払交付金を活用し、農地の保全を図っていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		107.4 ha	0 ha		157.7 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農		水稻・トマト	5 ha	ha	水稻・トマト	4.7 ha	ha	有	△ 0.3
2	認農		水稻・トマト	3.7 ha	ha	水稻・トマト	2.5 ha	ha	有	△ 1.2
3	利用者		水稻	1.4 ha	ha	水稻	1.2 ha	ha	有	△ 0.2
4	認農		水稻・ニラ	3.7 ha	ha	水稻・ニラ	7.3 ha	ha	有	3.6
5	利用者		水稻	2 ha	ha	水稻	2.2 ha	ha	有	0.2
6	利用者		きゅうり・タラの芽	1.4 ha	ha	きゅうり・タラの芽	1.4 ha	ha	有	0.0
7	利用者		水稻	2.8 ha	ha	水稻	2.4 ha	ha	有	△ 0.4
8	認農		水稻	2 ha	ha	水稻	1.3 ha	ha	有	△ 0.7
9	認農		水稻・枝豆	2 ha	ha	水稻・枝豆	0.5 ha	ha	有	△ 1.5
10	認農		水稻・ニラ	4 ha	ha	水稻・ニラ	5.7 ha	ha	有	1.7
11	認農		水稻・トマト	4 ha	ha	水稻・トマト	11.5 ha	ha	有	7.5
12	認農		しいたけ・水稻	3 ha	ha	しいたけ・水稻	0.7 ha	ha	有	△ 2.3
13	認農		水稻・トマト	5 ha	ha	水稻・トマト	10.5 ha	ha	有	5.5
14	認農		水稻	8 ha	ha	水稻	11.4 ha	ha	有	3.4
15	認農		水稻・トマト	1 ha	ha	水稻・トマト	1.6 ha	ha	有	0.6
16	利用者		水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	有	0.0
17	認農		水稻・そば	11.1 ha	ha	水稻・そば	27.3 ha	ha	有	16.2
18	利用者		水稻	4 ha	ha	水稻	5.3 ha	ha	有	1.3
19	認農		水稻	5 ha	ha	水稻	15 ha	ha	有	10.0
20	認農		水稻・トマト	0.2 ha	ha	水稻・トマト	2.7 ha	ha	有	2.5
21	認就		ネギ	0.1 ha	ha	ネギ	8.8 ha	ha	有	8.7
22	利用者		水稻	3 ha	ha	水稻	2.1 ha	ha	有	△ 0.9
23	利用者		水稻	4 ha	ha	水稻	2 ha	ha	有	△ 2.0
24	利用者		水稻	2.7 ha	ha	水稻	1.5 ha	ha	有	△ 1.2
25	利用者		水稻	3.1 ha	ha	水稻	2 ha	ha	有	△ 1.1
26	利用者		水稻	2 ha	ha	水稻	1.1 ha	ha	有	△ 0.9
27	認農		水稻	1.2 ha	ha	水稻	3.4 ha	ha	有	2.2
28	認農		水稻・肉用牛	0.1 ha	ha	水稻・肉用牛	0.1 ha	ha	有	0.0
29	認農		水稻	1.2 ha	ha	水稻	1.2 ha	ha	有	0.0
30	利用者		水稻	1.1 ha	ha	水稻	1.4 ha	ha	有	0.3
31	利用者		水稻	3.7 ha	ha	水稻	3.7 ha	ha	有	0.0
32	利用者		水稻	1.2 ha	ha	水稻	0.6 ha	ha	有	△ 0.6
33	利用者		水稻	1.4 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	有	△ 1.1
34	利用者		水稻	2.9 ha	ha	水稻	3.9 ha	ha	有	1.0
35	認農		水稻・トマト	1 ha	ha	水稻・トマト	1.2 ha	ha	有	0.2
36	利用者		水稻	1.4 ha	ha	水稻	1.2 ha	ha	有	△ 0.2
37	認農		水稻・トマト・そば	7.6 ha	ha	水稻・トマト・そば	7.6 ha	ha	有	0.0
38				ha	ha		ha	ha		
39				ha	ha		ha	ha		
40				ha	ha		ha	ha		
41				ha	ha		ha	ha		
42				ha	ha		ha	ha		
43				ha	ha		ha	ha		
44				ha	ha		ha	ha		
45				ha	ha		ha	ha		
46				ha	ha		ha	ha		
47				ha	ha		ha	ha		
48				ha	ha		ha	ha		
49				ha	ha		ha	ha		
50				ha	ha		ha	ha		
51				ha	ha		ha	ha		
52				ha	ha		ha	ha		
53				ha	ha		ha	ha		
54				ha	ha		ha	ha		
55				ha	ha		ha	ha		
56				ha	ha		ha	ha		
57				ha	ha		ha	ha		
58				ha	ha		ha	ha		
59				ha	ha		ha	ha		
60				ha	ha		ha	ha		

